



スマホなんでも サポート号

移動型スマホ教室のための車両「スマホなんでもサポート号」の運用を全国で開始

～全国の自治体と連携して地域のデジタルデバイドの解消を図る～

ソフトバンク株式会社

2022年04月04日

ソフトバンク株式会社（以下「ソフトバンク」）は、全国の自治体と連携して高齢者のデジタルデバイドの解消を目指すために、MONET Technologies株式会社（モネ・テクノロジーズ、以下「MONET」）の協力の下、移動型スマホ教室の開催や、スマートフォン（スマホ）の利用料金に関する相談や情報変更などの手続きを受け付けるための車両「スマホなんでもサポート号」の運用を、群馬県富岡市など全国10地域で2022年4月中旬から順次開始します。 スマホを持っていない方や他社のスマホを契約中の方も含めて、どなたでも無料でスマホ教室の受講などが可能です。

これまでソフトバンクは、自治体からの要望を受けて、自治体の施設や公民館などで、地域住民の方向けにセミナー講師やスマホアドバイザーによるスマホ教室などを開催してきました。しかし、中山間部などの地域においては、公共交通の不便さなどから、高齢者がスマホ教室などの開催場所に集まることが困難なケースが多いことが課題となっていました。ソフトバンクは、この課題を解決するために、MONETが開発した車内のレイアウトを柔軟に変更してさまざまな用途で利用可能な「マルチタスク車両」と、その車両を利用した移動サービスに関するMONETの知見を生かして、「スマホなんでもサポート号」を企画しました。「スマホなんでもサポート号」には、モニターやタブレットを搭載しており、オンラインでスマホアドバイザーやカスタマーサポートのオペレーターとコミュニケーションを取ることが可能なため、公共交通が不便な地域では受講者の近くまで出向いてスマホ教室などを開催できるようになります。

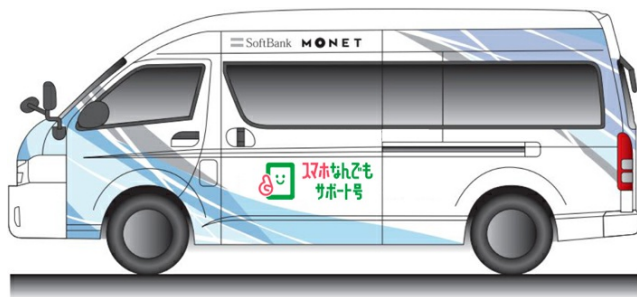
ソフトバンクは、「スマホなんでもサポート号」を利用して、全国10地域の13自治体で4月中旬以降順次、スマホ教室を開催します。スマホ教室は、スマホの実機を使いながら基本操作や機能などについて学べる内容で、どなたでも無料で参加することができます。「スマホなんでもサポート号」は、自治体が決める開催日程・場所に合わせて、1日当たり2カ所を巡回する予定です。車内にはスタッフが常駐し、スマホアドバイザーやオペレーターとのオンライン接続のサポートなどを行います。

今後もソフトバンクは、全国の自治体と協力して、今回構築した仕組みを活用し、地域のデジタルの社会実装の推進に寄与するとともに、地域社会の活性化に貢献していきます。

「スマホなんでもサポート号」のロゴと外観イメージ



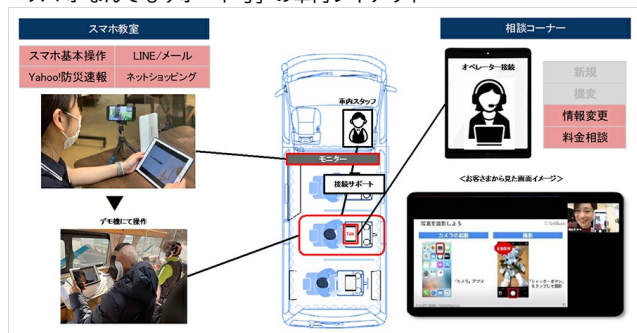
スマホなんでも サポート号



移動型スマホ教室のイメージ



「スマホなんでもサポート号」の車内レイアウト



移動型スマホ教室の開催地域・自治体

地域	自治体	運用開始日	部署名
北海道	安平町	4月20日	政策推進課
	千歳市	5月（予定）	市民環境部市民生活課市民生活係
	苫小牧市	6月（予定）	総務部ICT推進室
宮城県	東松島市	5月（予定）	総務部市民協働課
千葉県	八街市	4月19日	企画政策課
群馬県	富岡市	4月18日	企画財務部企画課企画係
岐阜県	恵那市	4月11日	情報政策課
京都府	亀岡市	4月19日	情報政策課
広島県	神石高原町	4月12日	デジタル推進室
	世羅町	4月13日	企画課

愛媛県	新居浜市	4月12日	総合政策課	
福岡県	飯塚市	5月（予定）	準備中	準備中
熊本県	大津町	5月（予定）	総合政策課デジタル推進係	

[注]

※ 運用開始日以降の開催日程については、各自治体にお問い合わせください。

※ ソフトバンクのスマホ教室については、こちらをご覧ください。

SoftBankおよびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。

その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。